

## 第 36 回 大阪市人権施策推進審議会 会議要旨

- 1 日 時 平成 30 年 2 月 6 日 (火) 午後 3 時 ~ 5 時
- 2 場 所 市役所屋上階 会議室
- 3 出席者  
( 審議会委員 )
  - ・伊藤良夏      ・川嶋広稔      ・鈴木暁子      ・高山直樹
  - ・辻川松子      ・( 会長 ) 中井伊都子      ・西田芳正      ・堀野ひろこ
  - ・村木真紀      ・( 会長代理 ) 山西美明  
( 事 務 局 )
  - ・吉村市民局理事      ・平澤ダイバーシティ推進室長      ・森人権企画課長
  - ・堀田多文化共生担当課長      ・吉岡共生社会づくり支援担当課長
  - ・藤田人権啓発・相談センター所長      ・姫野人権企画課長代理
  - ・森人権啓発・相談センター副所長
- 4 議 題 ( 1 ) 大阪市人権行政推進計画に基づく平成 29 年度の取組みについて
  - ア 「人権が尊重されるまち」指標 (平成 29 年度版) (案) について
  - イ 人権啓発の取組みについて
  - ウ 人権相談の取組みについて
  - エ 多文化共生の取組みについて
  - オ L G B T などの性的少数者にかかる取組みについて( 2 ) その他
  - ヘイトスピーチへの対処にかかるこの間の経過について
- 5 議事要旨
  - ( 1 ) 「人権が尊重されるまち」指標 (平成 29 年度版) (案) について説明をした。  
委員から、指標は意識調査的なもので具体性がないので、実態に応じた数値を掲載することが必要ではないかといった意見が出された。
  - ( 2 ) 平成 29 年度の人権啓発および人権相談の取組みについて報告した。委員から、「人権だより K O K O R O ねっと」の学校配付について、今後も実施してはどうかといった意見があった。
  - ( 3 ) 多文化共生の平成 29 年度の取組みについて説明をした。委員から、行政体

制の中で、外国にルーツをもつ子どもも含め、日本語教育が必要な外国籍の方々への基礎教育をしっかりと位置づけることや、外国籍住民の声を吸い上げるチャンネルをもつことが必要といった意見があった。

- (4) L G B Tなどの性的少数者にかかる取組みについて、平成 29 年度の取組み状況および、今後の対応課題について説明をした。委員から、行政として L G B Tの実態調査を行う予定はないのかといった質問があった。
- (5) ヘイトスピーチへの対処にかかるこの間の経過について説明をした。委員から、ヘイトスピーチの件数の変化や、審査の進捗について質問があった。

## 6 会議資料

- 資料 1 「人権が尊重されるまち」指標（平成 29 年度版）(案)
- 資料 2 平成 29 年度 大阪市人権啓発・相談センターにおける啓発事業の取組みについて
- 資料 3 大阪市人権啓発・相談センターにおける人権相談の取組みについて
- 資料 4 平成 29 年度 多文化共生の取組みについて（市民局事業）
- 資料 4 別紙 区役所出前講座等による「やさしい日本語」での防災学習会について
- 資料 5 L G B Tなどの性的少数者にかかる取組みについて
- 資料 5 別紙 平成 29 年度 L G B Tなどの性的少数者にかかる各区役所の特色ある啓発の取組み一覧（中間とりまとめ）
- 資料 6 大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例に基づくこの間の経過について
- 資料 6 別紙 大阪市ヘイトスピーチ審査会答申の概要